

[別紙 2]

審査の結果の要旨

氏名 澄田 有紀

本研究は電子カルテシステムに必要な機能、機能間の静的な関係、機能の記述要素 (Functional Descriptive Element、以下FDEとする)、FDE間の静的な関係、機能とFDE間の静的な関係を表現する記述形式を提案するものである。病院情報システムの精度向上にむけた機能モデル開発という研究課題を、長期間にわたり電子カルテシステムが導入されている複数の病院で詳細な調査を行い、電子カルテシステム設計に必須となる抽象化した機能モデルとその記述形式を提案している。以下に結果を示す。

1. 電子カルテシステムの機能が今回提案した9種のFDEを用いて表現でき、機能とFDE間の関係が10種の関係を用いて表現できることを示した。
2. 電子カルテシステムの機能間の関係として6種のパターンを抽出し、各パターンは、UMLのクラス図で既に用意されている関係および制約記述に加え、新たに2つの関係（「前提として必要関係」、「拡張関係」）を用い表現できることを示した。
3. 上記1、2を表現するメタ機能モデルをUML (Unified Modeling Language) クラス図を用い、機能の新たな記述形式として提案した。
4. 本研究で開発した機能の記述形式は、既に報告されている電子カルテシステムの機能の記述形式に比べ、①機能を多軸に分類できる点、②FDEの単純比較やFDE内での階層関係を用いた比較により機能の類似点や相違点を明示できる点、③機能の構造や関係を視覚化できる点で優れていることを示した。

以上より、本研究は社会医学の進展に寄与するものであり、学位の授与に値するものであると考えられる。